



Photo Library 【早稲沢木地工場資料館】

昭和の終わり頃まで稼働していた木地工場を当時の状況のまま残していた「民宿ひばら」の伊藤勝氏のもと、地域おこし協力隊、学生さんたちと共に資料館として再生しました。

裏磐梯エコツーリズム協会では、「人と自然」「人と人」のつながりを見つめなおし、地域の自然や文化を守りながら伝えることを通して、地域全体が元気になるような新しい観光と地域づくりを進める、そんな取り組みを行っています。

桧原木地語り～映画「奥会津の木地師」上映会～

村・商工会を中心に「木地師とジュンサイの里」を掲げた地域おこしが行われて早や32年・・・当協会としても「守り狐」を通して、古老から米澤街道や木地師について聞き取り調査したり、昨年は地域おこし協力隊の方々と共に早稲沢・木地工場の再生活動に取り組みました。今回、この映画鑑賞を通して、会津の木地師たちが良材を求めて山に分け入り暮らしていたこの地域の歴史について、ここを愛する人々、親子・孫の世代で、話を深めてゆける機会になればと思います。お待ちしております！

【開催日時】2017年1月24日(火) 13:00～

【内容】1部 13～14:30 民族映像研究所「奥会津の木地師」上映
2部 15～15:30 早稲沢木地工場資料館の見学(希望者のみ)

【会場】MOTO COFFE(2F) / 早稲沢木地工場資料館

【参加費】800円(コーヒー代含む)

【服装など】1部は室内、2部は半野外です。防寒対策を十分に！

※駐車場に限りがある為、乗り合わせ協力のご連絡をする場合があります、宜しくお願いします。

裏磐梯雪まつり2017 プログラム実施

■守り狐・絵付け体験

【日時】2月17日(金)～19日(日) 13～16:00

【会場】裏磐梯サイトステーション館内

【参加費】サイズ別・6cm=800円、20cm=2000円

■スノーシューツアー「ふわふわ雪を歩こう！」エコガイドの会共催

【日時】2月18日(金)13～15:00、19日(日) 10～12:00

【会場】裏磐梯サイトステーション～レンゲ沼・中瀬沼周辺

【参加費】500円 ★スノーシューレンタル有ります(500円)

★真冬の裏磐梯高原は雪深く、吹雪くことも。極寒対応の服装でおいでください！

会場でお待ち
します！

講座 & イベントの参加申込・お問合せ

TEL:0241-23-7860 Mobile:080-2827-1687 ✉info@eco-urabandai.com

締切は開催日3日前まで。準備等ございますので予めお申込みをお願いします

会員事業所 ご紹介

File.5 温泉の宿たばこ屋

明治の磐梯山の噴火により、かつての桧原宿の集落と米澤街道(一部)は2年をかけて湖底に沈み、人々は現在の桧原地区と金山地区とに分かれ新たに集落を築きました。そんな歴史を持つ桧原で営業されている大正5年創業の温泉宿。「大和屋」から1代目が分家して「新大和屋」となり、煙草も商っていたので宿名を「煙草屋」に。平成に入って温泉も引き「温泉の宿 たばこ屋」へと変わりました。現ご当主である3代目は、お宿、ワカサギ釣りのお客様の対応、村の役職を引き受けたりと、とても面倒見の良いお人柄。温泉に浸かった後、桧原の歴史などお話を聞くのは如何でしょうか(日帰り温泉利用可)。



北塩原村桧原字 道前原 1131
TEL:0241-34-2003

「ばんだいの 宝 発見講座」

この講座では、観光地としての魅力（自然・歴史・文化・人材）を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動を通して“質の高いサービスの提供（おもてなし）”を可能にすることを目指します。

講座には、どなたでも参加できます。ぜひ一緒に磐梯の宝を再発見・再認識いたしましょう！

**源流域裏磐梯の
水を守ろう！**

**「飲み残し
ゼ口運動」
展開中！**

ペットボトルや缶の飲料の飲み残しを流してしまうと、きれいな水に戻すにはその数倍の水を必要とします。油はもちろん、飲み物にも気配りをお願いします。

**ラムサール条約
登録を
目指します！**

正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」ですが、その登録に向けて活動して参ります。まずは「ラムサール条約って何？」からスタートです。【出前講座】を実施しますので、興味のある方は、お気軽にお声がけください。

実施報告 ばんだいの宝発見講座（11月）

■11月8日（火）、福島大学大学院／国立科学博物館・筑波実験植物園 山下由美先生を講師にお招きして「植物講座初歩シリーズ・裏磐梯のランを知ろう」を実施しました。ランは日本で86属320種、そのうちの32属52種が裏磐梯で確認されているとのこと。写真を見ながら花の色形のことだけでなく、その生活史についてお話しして下さいました。まるで埃のような糸くずのような種子が無数に鞘に入っていること、種子は発芽して根を延すのに共生菌のお世話になって（栄養をもらって）成長すること、あるいは一生を菌と共に暮らすものもあること、相性の良い菌と出会えない場合“発芽しない”こともあること（生きる場所を選び好みしていると言える？）などなど、驚きに満ち満ちたランの世界をていねいに紐解いて頂きました。



講師：山下由美先生より

去年お引き受けしたものの、今年度から筑波在住になったこともあって準備が十分出来ず、皆さんにお渡しする書類を新しく作る時間がありませんでした。結果的に昨年度の磐梯朝日遷移プロジェクト報告会の書類を流用することになってしまい、実際にお話した内容とやや異なってしまったことは、聞いて下さった皆さんに申し訳なかったと思います。また、内容も、もう少しランという植物について詳しくお話しすればよかった（花の構造とか）と反省しています。参加した皆さんは大変熱心に聴いて下さって、講師としてはありがたく思っています。

参加者：中森茂様より

オニノヤガラというランは、植物を枯らすほどの分解力を持つナラタケ菌と共生し栄養をもらい、1ミリにも満たない小さな種から数年かけて花を咲かせるそうです。そんなランと菌の不思議な関係など、ランにまつわるたくさんの興味深いお話や、日本のランの種の1/6もがある裏磐梯地区のランの様子など、ランの魅力を福島大学の山下由美先生から学ばせていただきました。ランの気持ちになって、ランを求めて野に出かけたくくなりました。

ラムサール条約登録に向けて～研修報告～

11月17日（火）、ラムサール条約登録湿地である、宮城県の伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター、化女沼ダム観光資料館を見学してきました。マガン、カリガネ等渡り鳥の飛来地であり、周辺に生息する動植物はもちろん、人々の生活を含めた環境保全活動、教育活動を展開されています。その取組は、長年にわたるデータが重要なカギを握っている模様。これからの裏磐梯での活動について思いを新たにしながら、夕方には落雁の様子も観察して帰りました。当日は、化女沼ダム資料館ではNPO法人エコパルの高橋和吉氏、サンクチュアリセンターでは伊豆沼・内沼環境保全財団の藤本康文氏に様々な内容についてご教授頂きました。ありがとうございました！

「みんなで話そう！これからの裏磐梯」開催

11月29日（火）、たくさんの方にご参加いただき、多岐にわたって話し合いができました。探勝路の見直しや新しいルートの紹介、交通標識、外来種の問題、イベントの在り方などなど、戴いたご提案をどのように進めていけるか、よく詰めていきたいと思います。今後もみなさんのご協力をいただけますよう、お願いいたします。

裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字小野川原1092-65
TEL: 0241-23-7860 携帯: 080-2827-1687 FAX: 050-7541-2411
Mail: info@eco-urabandai.com
URL: <http://www.eco-urabandai.com>

